

各 位

上場会社名	株式会社EMCOMホールディングス
代表者	代表取締役社長 金 学敏
(コード番号	7954)
問合せ先責任者	取締役 李 正先
(TEL	050-3155-4370)

第2四半期連結累計期間業績予想との差異及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

平成24年5月15日に公表いたしました平成24年12月期第2四半期連結累計期間(平成24年1月1日～平成24年6月30日)の業績予想値と、平成24年12月期第2四半期連結累計期間の決算値に差異が生じたので、下記の通りお知らせいたします。

また、最近の業績動向を踏まえ、平成24年12月期(平成24年1月1日～平成24年12月31日)の通期連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、併せてお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成24年12月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成24年1月1日～平成24年6月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	1,340	△403	△398	△1,389	△50.29
今回修正予想(B)	1,312	△509	△465	△1,865	△67.53
増減額(B-A)	△28	△106	△67	△476	
増減率(%)	△2.1	—	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成23年12月期第2四半期)	1,349	△61	△20	△63	△2.29

平成24年12月期通期連結業績予想数値の修正(平成24年1月1日～平成24年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	4,568	△537	△527	△1,625	△58.83
今回修正予想(B)	6,396	89	134	△1,465	△53.05
増減額(B-A)	1,828	626	661	160	
増減率(%)	40.0	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成23年12月期)	2,481	△205	△157	△1,033	△37.41

修正の理由

(1) 平成24年12月期第2四半期累計期間連結業績予想との差異の理由

平成24年12月期第2四半期(累計)連結業績予想につきましては、売上高は、エンタテインメント事業において平成24年5月にスペインのマドリードで開催した「K-1 RISING 2012～K-1 WORLD MAX FINAL 16～in MADRID」大会における売上計上(チケット収入分)が当初予定時期よりも遅れております。これは、現地大会開催に係る現地の制作会社向け支払いについて、為替リスク軽減化ならびに送金手続き簡素化を企図し、現地チケット代行業者との間で、代金の授受方法について現地法律に準拠した決済方法を検討していることに伴い、当初予定に比して受領が遅延していることによるものです。しかし、収入金額・支払金額とも基本合意しており、法律上の問題の有無が確認でき次第、決済見込みであります。

また、同大会における運営費用が当初予定額よりも増大した事や、資源流通事業において汚染土壌の洗浄剥離による「汚染土壌処理システム」を開発するにあたっての研究開発費用や、実証実験に要した費用等の先行投資費用が生じたことが主な要因となり、平成24年5月15日付公表の業績予想のうち、売上高はほぼ予想通りに推移するも、営業利益が大きく下回る結果となり差異が△106百万円となりました。

なお、それに伴い経常利益も前回予想を下回る結果となりましたが、受取利息11百万円、有価証券売却益10百万円及び為替差益14百万円等を計上したことにより経常利益は△67百万円の差異となりました。

また、平成24年6月6日付適時開示「連結子会社の固定資産の譲渡および特別損失計上に関するお知らせ」にてお知らせいたしました通り、当社連結子会社である株式会社EMCOMヘルスケアが保有する固定資産を売却した事による特別損失336.8百万円を計上したことや、法人税、住民税及び事業税183百万円を計上した事が主な要因となり、四半期純利益についても業績予想よりも△476百万円下回る結果となりました。

(2) 通期業績予想修正の理由

通期連結累計期間の業績については、第2四半期連結累計期間において、新規事業である資源流通事業及びエンタテインメント事業の事業に掛かるコストが増大したため、営業利益及び経常利益は平成24年5月15日付公表の業績予想からの下方要因となりました。

また、上記のとおり、連結子会社である株式会社EMCOMヘルスケアが保有する固定資産を売却した事による特別損失は336.8百万円等の計上により、通期連結業績予想のうち当期純利益についても、平成24年5月15日付公表の業績予想からの下方修正しております。

しかし、その一方で資源流通事業において汚染土壌の除染事業が平成24年9月以降において本格化する事が見込まれる事及びエンタテインメント事業において、平成24年10月に両国国技館で開催される『K-1 RISING WORLD GP FINAL 16』の開催を追加決定した事等が主な要因となり、営業利益、経常利益及び当期純利益につきましては平成24年5月15日付公表の業績予想から大幅に増加しております。

なお今後の大会開催予定については、決定次第順次発表予定であります。現在発表しております、平成24年9月に行われる『K-1 RISING 2012 U.S. Grand Prix, Championship in Los Angeles』及び平成24年10月に行われる『K-1 RISING 2012 WORLD GP Final 16 in Tokyo』の他にも、本年12月に2つの大会の実施を予定しております。

詳細に関しましては、現地パートナーとの契約締結完了次第、順次プレスリリースして参る予定であります。今後大会開催の予定の変更等に伴い業績予想に変動が生じる際には、すみやかにお知らせいたします。

平成24年7月20日付及び平成24年7月23日付「連結子会社の解散及び清算ならびに特別損失計上に関するお知らせ」にてお知らせいたしました特別損失の発生及び平成24年7月30日付「投資有価証券売却益(特別利益)の計上に関するお知らせ」にてお知らせいたしました特別利益の発生による影響につきましては通期連結累計期間の業績予想に織り込んでおります。

以上